



第 34 回リビエラ逗子マリーナヨットレース  
加山雄三 invitational 『若大将』カップ

Sailing Instructions  
【クルーザーヨットレース帆走指示書】

1. 適用規則

- 1-1. セーリング競技規則（R R S）2013-2016
- 1-2. 日本セーリング連盟規定
- 1-3. I R Cルール 2016 ただし証書記載の乗員数、乗員重量の制限を設けない。
- 1-4. レース公示および本帆走指示書

2. 競技者への通告

- 2-1. 競技者に対する通告は、レース本部に設置される公式掲示板に掲示される。
- 2-2. 海上において本部艇より音声にて通告を行う場合がある。この場合本部艇にL旗を掲揚する。
- 2-3. 公示と帆走指示書の間で矛盾が生じた場合は帆走指示書を優先する。

3. 帆走指示書の変更

- 3-1. 帆走指示書の変更は10月9日08:00までに公式掲示板に掲示する。
- 3-2. 海上における帆走指示書の変更を行う場合には、本部船にL旗を掲揚し口頭により各艇に通告する。

4. エントリーの海上確認

レース当日10:15までにL旗を掲揚した本部船の船尾を右舷に見て通過し、エントリーの海上確認を受けること。海上確認時はセール番号またはリコール番号を明示していること。

リビエラカップ旗掲揚の公式観覧艇カタマランヨット（ラグーン560予定）が、本部船の右舷側付近で待機しているので、航行に十分に注意して海上エントリーを受けること。

5. 参加艇の義務

- 5-1. 通信手段として1台（以上）の携帯電話を搭載し、その携帯番号を出艇申告書に記載し提出すること。
- 5-2. クラス識別旗をバックステー付近デッキ上1.5m以上に掲揚すること。
- 5-3. 本部艇にY旗が掲揚されている場合は、レース中ライフジャケットを着用していなければならない。  
また、Y旗が掲揚されていない場合でもライフジャケットの着用を強く推奨する。
- 5-4. スタートしない艇、レースを途中で棄権した艇、レース中に事故を起こした艇は速やかにレース本部に報告すること。
- 5-5. 通信手段としての携帯電話の予備バッテリー、水密パックの搭載を強く推奨する。
- 5-6. 主催者から指定された広告を表示するよう要求された場合は、その指示に従うこと。

## 6. レース日程・予告信号時間

10月9日(日)      10:25 ハピネスクラス・オープンクラス予告信号  
                         10:35 I R Cクラス予告信号

## 7. クラス

7-1. クラス分けは、ハピネスクラス、オープンクラス、I R Cクラスとする。

7-2. 各クラスの識別旗の色は次の通りとする。

ハピネス：イエロー、オープンクラス：ピンク、I R Cクラス：グリーン

7-3. 参加艇数により更にA・Bクラスに分けることがある。

## 8. コース

8-1. 逗子沖スタート→烏帽子岩(時計回り)→逗子沖フィニッシュ

## 9. マーク

9-1. スタートのアウターマークは公式運営艇（ノーススター紺色を予定）とする。

9-2. フィニッシュマークは円筒形イエローブイとする。

## 10. スタート

10-1. R R S. 26 に従い、ハピネスクラス、オープンクラスを一緒に、その後、I R Cクラスの順でスタートを行う。

10-2. スタートラインはスターボードサイトの本部艇〔リビエラ旗掲揚〕のオレンジ旗を掲揚したマストまたはポールとポートサイドのマーク艇〔リビエラ旗掲揚〕のオレンジ旗を掲揚したマストまたはポールの間とする。

10-3. スタート信号後 20 分以内にスタートしなかった艇はD N Sと記録する。これは規則 A4 を変更している。

## 11. リコール

11-1. リコール艇があった場合はX旗を掲揚し音響信号 1 声で通告する。

11-2. ゼネラル・リコールの場合は第 1 代表旗を掲揚し音響信号 2 声で通告する。

11-3. ゼネラル・リコール後の新たな信号は第 1 代表旗降下 1 分後に発せられる。

## 12. スタートの延期

12-1. スタートを延期する場合はA P旗掲揚と音響信号 2 声で通告する。

12-2. スタートを延期した場合の新たな予告信号はA P旗降下の 1 分後に発せられる。

### 13. フィニッシュ

フィニシングラインは、ブルー旗を掲揚した運営艇〔リビエラ旗掲揚〕のオレンジ旗掲揚ポールと円筒形イエローブイの間とする。

### 14. コースの短縮

14-1. コースを短縮する場合は運営艇にS旗を掲揚する。

14-2. コース短縮をした場合のフィニシングラインはブルー旗を掲揚した運営艇〔リビエラ旗掲揚〕のS旗掲揚ポールと烏帽子岩の最高点の間とし、運営艇を左側に見てフィニッシュする。

### 15. ペナルティ方式

15-1. RRS第2章に関わる規則違反については2回転ペナルティが適用され、規則31に違反した艇は1回転ペナルティを適用する。

15-2. リコールに関わる規則違反については、OCSに代わる罰則として、タイム・ペナルティ（5%）が適用される。

15-3. その他の規則違反については、プロテスト委員会は、失格または0～5%のタイム・ペナルティを科すことができる。

### 16. タイムリミット

16-1. タイムリミットは全クラス共通で15:00とする。

16-2. タイムリミットまでにフィニッシュしなかった艇はDNFと記録する。これは規則35を変更している。

### 17. 抗議（救済の要求）

17-1. 抗議の意思がある艇は、フィニッシュ時にその旨を、本部船に伝えること。

17-2. 抗議（救済の要求）は、RRS.62に従い、所定の抗議書に記入し、締め切り時間内にレース本部に提出すること。

17-3. 抗議の締切時間は最終艇フィニッシュ後60分の時刻とする。

17-4. 抗議（救済の要求）書の提出はFAXに代えることができる。  
但し、審問の際に抗議書の原本を提出しなければならない。

### 18. 順位の決定

18-1. ハピネスクラス、オープンクラスのレーティングはレース委員会が付与する。

18-2. ハピネスクラス、オープンクラスはレース委員会が付与した主催者独自のレーティングによりタイム・オン・タイム方式で修正結果を算出する。

18-3. IRCクラスはタイム・オン・タイム方式で修正結果を算出する。

18-4. 修正結果が同じ場合はレーティング数値の小さいほうの艇を上位とする。

18-5. 総合成績のレーティングは全艇にレース委員会が付与した主催者独自のレーティングによりタイム・オン・タイム方式で修正結果を算出する。

#### 19. 運営艇

公式運営艇には『R I V I E R A C U P 旗』を掲揚する。

#### 20. ごみの処分

艇から出たごみは海上で投棄せず、自艇で所持し続け、持ち帰り、陸上で処分しなければならない。

(R R S 55 の適用と付則 L 24 の変更)

#### 21. メディア、画像および音声

参加者は、陸上または海上でとられた、レースに関する写真、録音、録画、及びそれらの複製品を、無償で、主催者と大会スポンサーに、その裁量で永久に作成、使用、公開する権利を自動的に与える。(R R S 付則 L E 35 参照)

#### 22. レース本部及び公式掲示板

レース本部および公式掲示板は、逗子マリーナハーバーオフィス前に設置する。

TEL : 0467-24-1000 FAX : 0467-24-8596

以上

### 【コース略図】

